# 日本家庭科教育学会
# 第61回大会プログラム

**期日:2018年7月7日(土)～7月8日(日)**

**会場:茨城大学教育学部**

〒310-8512　茨城県水戸市文京2-1-1
http://www.ibaraki.ac.jp/

大会事務局　野中美津枝(大会実行委員長:茨城大学)
〒310-8512　茨城県水戸市文京2-1-1　茨城大学
Tel・Fax ： 029-228-8278
E-mail ： mitsue.nonaka.edu@ ibaraki.ac.jp

日程

<table>
<tr><th colspan="5">7月7日 (土)</th><th colspan="4">7月8日 (日)</th></tr>
<tr><td>9:00～</td><td colspan="4">受付<br>(データインストール7月7日分:各発表会場)</td><td>9:00～</td><td colspan="3">受付<br>(データインストール7月8日分:各発表会場)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">9:30<br>～11:30</td><td colspan="4">口頭研究発表</td><td rowspan="3">9:30<br>～11:50</td><td colspan="3">口頭研究発表</td></tr>
<tr><td>第1会場</td><td>第2会場</td><td>第3会場</td><td>第4会場</td><td>第1会場</td><td>第2会場</td><td>第3会場</td></tr>
<tr><td>B棟<br>311</td><td>B棟<br>207</td><td>B棟<br>205</td><td>B棟<br>204</td><td>B棟<br>311</td><td>B棟<br>207</td><td>B棟<br>205</td></tr>
<tr><td></td><td>A1-1<br>～A1-6</td><td>A2-1<br>～A2-6</td><td>A3-1<br>～A3-6</td><td>A4-1<br>～A4-6</td><td></td><td>B1-1<br>～B1-7</td><td>B2-1<br>～B2-6</td><td>B3-1<br>～B3-7</td></tr>
<tr><td>11:30<br>～12:30</td><td colspan="4">昼食</td><td>11:50<br>～12:30</td><td colspan="3">昼食</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12:30<br>～13:00</td><td colspan="4">ポスタープレゼンテーション</td><td rowspan="2">12:30<br>～13:00</td><td colspan="3">ポスタープレゼンテーション</td></tr>
<tr><td colspan="4">奇数番号(D棟101)</td><td colspan="3">偶数番号(D棟101)</td></tr>
<tr><td>13:10<br>～14:10</td><td colspan="4">総会(D棟201)<br>学会賞, 功労賞授与式</td><td rowspan="3">13:10<br>～15:20</td><td colspan="3">ラウンドテーブル(公開)<br>家庭科における「主体的・対話的で<br>深い学び」の実現に向けた授業改善</td></tr>
<tr><td>14:20<br>～16:50</td><td colspan="4">基調講演とトークセッション(D棟201)<br>“未来をつくる力”と家庭科</td><td>RT1</td><td>RT2</td><td>RT3</td></tr>
<tr><td>18:00<br>～20:00</td><td colspan="4">懇親会<br>(会場:ホテル　テラス　ザ　ガーデン水戸)</td><td>B棟311</td><td>B棟207</td><td>B棟205</td></tr>
</table>

＊7月6日(金) 15:00～17:00理事会(A棟2階プレゼンテーションルーム)
17:00～19:00地区会代表者会議(A棟2階プレゼンテーションルーム)

# 目　次

**研究発表**
口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

**基調講演とトークセッション**・・・・・・・・　16

**ラウンドテーブル**・・・・・・・・・・・・・・・・　17

**懇親会のご案内**・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

**お知らせ**
大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
保育室について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

**研究発表をされる方への連絡事項**
口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
ポスター研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

茨城大学までのアクセス・・・・・・・・・・・・　22

茨城大学キャンパスマップ・・・・・・・・・・　23

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

# 研究発表

## 【口頭発表】（発表番号のＡは第１日目，Ｂは第２日目）

## 【7 月 7 日】第 1 会場（B 棟 311）

【午前 9：30～10：30】座長：正保　正恵（福山市立大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A1 - 1 | 男子高校生が子育てに対するイメージを深めるための授業実践 | 高等工科学校<br>東京学芸大学教育学部 | ○山崎真澄<br>池﨑喜美恵 |
| A1 - 2 | 中学校家庭科保育領域の学習内容の検討－教科書分析から－ | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生）/日本学術振興会特別研究員ＤＣ2 | ○叶内茜 |
| A1 - 3 | 幼児触れ合い体験実施における必要事項の検討－中学校家庭科教員に対する質問紙調査から－ | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科<br>東京学芸大学教育学部 | ○松岡晃代<br>倉持清美 |

【午前 10：30～11：30】座長：堀江　さおり（秋田大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A1 - 4 | 小学校「家族・家庭生活」分野における低学年児との関わりを取り入れた授業の開発－ナラティブから読み取る効果の検討－ | 東京学芸大学附属小金井小学校<br>東京学芸大学附属高等学校<br>さいたま市大成中学校<br>東京学芸大学教育学部<br>香川大学教育学部<br>日本女子大学 | ○西岡里奈<br>阿部睦子<br>金子京子<br>倉持清美<br>妹尾理子<br>望月一枝 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| A1 - 5 | 家庭科における「家族」の学習－高校生の学習経験と「家族」意識への影響－ | 東京学芸大学大学院教育学研究科（院生）<br>東京学芸大学教育学部 | ○金澤良汰<br>藤田智子 |
| A1 - 6 | アクティブ・ラーニングを通じて深い学びにつなげる高齢社会を題材とした授業実践 | 琉球大学教育学部<br>捜真女学校 | ○土屋善和<br>千葉眞智子 |

## 【7月7日】第2会場（B棟207）

【午前9：30～10：30】座長：伊波　富久美（宮崎大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A2 - 1 | ナラティヴ・アプローチによる家庭科教師のカリキュラム・デザインと私的生活経験の関連の検討 | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生）<br>埼玉大学教育学部 | ○瀬川朗<br>河村美穂 |
| A2 - 2 | スウェーデン家庭科におけるパフォーマンス評価を取り入れた学習モデルの検討 | 大阪体育大学教育学部<br>大阪教育大学教育学部<br>金沢大学学校教育系 | ○荒井紀子<br>鈴木真由子<br>綿引伴子 |
| A2 - 3 | 高等学校「家庭基礎」におけるホームプロジェクトを軸にしたカリキュラムの検討－家庭科教師の意識と取り組みの実態に基づく考察－ | 広島大学大学院教育学研究科（院生）<br>広島大学大学院教育学研究科 | ○中村誉子<br>鈴木明子 |

【午前10：30～11：30】座長：福井　典代（鳴門教育大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A2 - 4 | 大正期から昭和戦後期の大衆向け着物「銘仙」に関する考察 | 放送大学広島学習センター | ○柴静子 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| A2 - 5 | 中学校技術・家庭科におけるパンツ製作の変遷と提案 | 弘前大学教育学部<br>弘前大学教育学部 | ○安川あけみ<br>日景弥生 |
| A2 - 6 | 手縫いの基礎的知識と技術の定着を促す研究－家庭科教員免許の取得を目指す大学生を対象に－ | 宮城学院中学校高等学校（非）<br>東京学芸大学教育学部<br>東京学芸大学(元) | ○大塚吏恵<br>池﨑喜美恵<br>鳴海多恵子 |

## 【7 月 7 日】第 3 会場（B 棟 205）

【午前 9：30～10：30】座長：小高　さほみ（上越教育大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A3 - 1 | 高等学校家庭科におけるゲスト・ティーチャーが授業にもたらす効果－男性家庭科教師を招いた授業の考察から－ | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）<br>横浜国立大学教育学部 | ○遠藤大輝<br>堀内かおる |
| A3 - 2 | 小学校家庭科におけるマインドフルネスの視点を入れた「だし」の学習教材の検討 | 東京学芸大学教育学部 | ○渡瀬典子 |
| A3 - 3 | 中学校家庭分野における「牛乳試飲体験」から食品選択を促す授業デザイン | 横浜市立港南中学校<br>横浜国立大学教育学部 | ○浅野和子<br>堀内かおる |

【午前 10：30～11：30】座長：吉本　敏子（三重大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A3 - 4 | 協調学習を取り入れた「加工食品の特徴を知ろう」の授業開発 | 静岡大学教育学部<br>静岡県静岡市立東中学校 | ○小清水貴子<br>山下美乃里 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| A3 - 5 | 中学校の調理実習におけるハンバーグの教材としての可能性 | 静岡県富士市立富士中学校<br>埼玉大学 教育学部 | ○望月朋子<br>河村美穂 |
| A3 - 6 | 食生活学習ふりかえり記述からみる「応用可能力」 | 埼玉県伊奈町立小針北小学校<br>埼玉大学教育学部 | ○石川万記子<br>河村美穂 |

## 【7 月 7 日】第 4 会場（B 棟 204）

【午前 9：30～10：30】座長：鎌田　浩子（北海道教育大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A4 - 1 | 領域・人・実生活における実践とのつながりを重視した金銭教育の試み | 大阪教育大学教育学部 | ○加賀恵子 |
| A4 - 2 | 「自作シナリオによる悪質商法のロールプレイ」の実践が生徒に与える効果 | 大阪府立貝塚高等学校 | ○谷昌之 |
| A4 - 3 | 資金準備に焦点をあてた生活設計の授業の試みー大学進学のための資金準備の場合ー | 千葉県立流山おおたかの森高等学校<br>千葉大学教育学部 | ○仲田郁子<br>久保桂子 |

【午前 10：30～11：30】座長：小島　郷子（高知大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| A4 - 4 | 中学生の時間配分類型と時間使用に関する自己評価 | 弘前大学教育学部 | ○李秀眞 |
| A4 - 5 | 家庭科における探究・発信型学習ー主体的に生活をとらえ学び合う生活レポートの実践ー | 白鷗大学教育学部（非）<br>東洋大学文学部（非） | ○和田早苗<br>栗原恵美子 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| A4 - 6 | 「鹿内瑞子旧蔵資料」にみる小学校家庭科の展開－全国各地における教育実践に着目して－ | 熊本大学大学院教育学研究科 | ○八幡(谷口)彩子 |

## 【7 月 8 日】第 1 会場（B 棟 311）

### 【午前 9：30～10：30】座長：角間　陽子（福島大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B1 - 1 | 高校家庭科における非正規教員の勤務・教育実態に関する研究－京都府立高校の事例を対象として－ | 京都教育大学<br>京都教育大学大学院 | 井上えり子<br>○杉本佳子 |
| B1 - 2 | 高等学校家庭科初任者が抱える教科指導上の不安感－関東３県の初任者への質問紙調査から－ | 東京学芸大学大学院教育学研究科（院生）<br>東京学芸大学教育学部 | ○高橋菜月<br>池崎喜美恵 |
| B1 - 3 | 高校家庭科教師にみる専門性発達とそれを促す環境について－『家庭科部会報』における実践記録の分析を通して－ | 東洋大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程 | ○計良智子 |

### 【午前 10：30～11：50】座長：瀬戸　房子（鹿児島大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B1 - 4 | 教員養成系大学の家政教育における人権意識を高める授業デザインーアセスメントのための指標に着目して－ | 広島都市学園大学子ども教育学部<br>山形大学地域教育文化学部<br>鹿児島大学教育学部<br>敬愛大学国際学部(非) | ○冨田道子<br>石垣和恵<br>齋藤美保子<br>小谷教子 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| B1 - 5 | 教科内容と教職内容の接続をめざした教科教育法の授業実践 | 愛知教育大学教育学部<br>山梨大学大学院総合研究部<br>弘前大学教育学部 | ○青木香保里<br>志村結美<br>日景弥生 |
| B1 - 6 | 特別支援学校高等部「家庭」における中・高接続に関する教師の課題意識 | 広島大学大学院教育学研究科（院生）<br>広島大学大学院教育学研究科 | ○齊藤紀子<br>伊藤圭子 |
| B1 - 7 | ICT 活用における先進県にみる中学校家庭科教員の ICT リテラシーの実態と課題－神奈川県における調査との比較から－ | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科<br>横浜国立大学教育学部 | ○中西佐知子<br>堀内かおる |

## 【7 月 8 日】第 2 会場（B 棟 207）

【午前 9：30～10：30】座長：西　敦子（山口大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B2 - 1 | 知識構成型ジグソー法による住生活の授業実践の成果と課題<br>－高等学校家庭科「将来の住生活について考える」授業－ | 静岡大学学術院教育学領域<br>静岡大学大学院教育学研究科(院生)<br>浦和大学こども学部<br>新潟大学教育学部 | ○小川裕子<br>藤原恵里<br>伊深祥子<br>飯野由香利 |
| B2 - 2 | ジグソー法で学ぶ中学校家庭科の授業開発－住生活授業の生徒の記述分析から－ | さいたま市立大成中学校<br>浦和大学こども学部<br>静岡大学学術院教育学領域<br>新潟大学教育学部 | ○金子京子<br>伊深祥子<br>小川裕子<br>飯野由香利 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 静岡大学大学院教育学研究科（院生） | 藤原恵里 |
| B2－3 | 住環境教育における小学生を対象にした実験型ジグソー法に関する研究 | 新潟大学教育学部<br>静岡大学学術院教育学領域<br>浦和大学こども学部 | ○飯野由香利<br>小川裕子<br>伊深祥子 |

【午前 10：30～11：30】座長：土岐　圭佑（北海道教育大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B2－4 | 住文化への関心･理解を深める中学校家庭科の授業開発－主体的・対話的で深い学びへの試み－ | 香川大学教育学部附属坂出中学校<br>香川大学教育学部 | ○池下香<br>妹尾理子 |
| B2－5 | ＳＤＧｓへの意識を高める余熱保温調理の中学家庭科授業実践の効果と可能性 | 東洋大学文学部（非）<br>白鷗大学教育学部(非) | ○栗原恵美子<br>和田早苗 |
| B2－6 | 新学習指導要領にみる高等学校家庭科の「地域」に関する学習 | 兵庫教育大学大学院学校教育学研究科 | ○花輪由樹 |

## 【7 月 8 日】第 3 会場（B 棟 205）

【午前 9：30～10：30】座長：室　雅子（椙山女学園大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B3－1 | 理系女子高校生のキャリアパスとロールモデルによるライフデザイン学習の効果 | 東京都立戸山高等学校 | ○荒井きよみ |
| B3－2 | “働き方”に対する女子大学生の意識の実態とキャリアデザイ | 大阪教育大学教育学部 | ○鈴木真由子 |

ンの課題

| | | | |
|---|---|---|---|
| B3 - 3 | 家庭科の学びと職業生活と家庭生活における女性の活躍 | 高知大学教育学部 | ○森田美佐 |

【午前 10：30～11：50】座長：鈴木　洋子（奈良教育大学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| B3 - 4 | 家庭科の学習を通して育むグローバルな視点－「グローバルライフ」学習者へのインタビュー調査からの検討－ | 筑波大学附属坂戸高等学校 | ○横瀬友紀子 |
| | | 埼玉大学教育学部 | 河村美穂 |
| B3 - 5 | 食の衛生管理に関する意識調査 学校種における相違と授業前後での変化 | 東京学芸大学大学院教育学研究科 | ○佐藤安沙子 |
| | | 東京学芸大学教育学部 | 藤田智子 |
| | | 東京学芸大学附属高等学校 | 阿部睦子 |
| | | 東京学芸大学附属世田谷中学校 | 菊地英明 |
| | | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 | 桑原智美 |
| | | 東京学芸大学附属小金井小学校 | 西岡里奈 |
| | | 東京学芸大学教育学部 | 倉持清美 |
| B3 - 6 | 調理実習における衛生に関する授業の効果 | 東京学芸大学附属世田谷中学校 | ○桑原智美 |
| | | 東京学芸大学教育学部 | 藤田智子 |
| | | 東京学芸大学附属高等学校 | 阿部睦子 |
| | | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 | 菊地英明 |

（院生）
東京学芸大学大学院教育学研究科　佐藤安沙子
東京学芸大学附属小金井小学校　西岡里奈
東京学芸大学教育学部　倉持清美

B3 - 7　調理実習における授業リフレクションの効果についての検討ー自己リフレクションと集団リフレクションの実施よりー　千葉県私立東葉高等学校　○若月温美

## 【ポスター発表】

会場　D 棟 101
奇数番号：掲示期間【7 月 7 日（土）】9:30～17:00，プレゼンテーション 12:30～13:00
偶数番号：掲示期間【7 月 8 日（日）】9:30～15:40，プレゼンテーション 12:30～13:00

| | | | |
|---|---|---|---|
| P01 | 大学生の食意識・献立作成力の実態と課題 | 北海道教育大学教育学部札幌校 | ○根本亜矢子 |
| P02 | 生活経営力の育成における生活資源を活用した主体的・協働的な学びの有効性 | 福島大学人間発達文化学類 | ○角間陽子 |
| P03 | 基礎縫いに関する動画の実態調査とその教材化 | 鳴門教育大学大学院学校教育研究科(院生)<br>鳴門教育大学大学院学校教育研究科<br>鳴門教育大学大学院学校教育研究科 | ○福井ともこ<br>速水多佳子<br>福井典代 |
| P04 | 岡山大学教育学部家政教育講座における初等家庭科授業研究・内容研究の実践と「教科内容構成力」の育成－小学校教員養成における教科教育と教科内容の統合を目指す授業内容構築の試みー | 岡山大学大学院教育学研究科<br>岡山大学大学院教育学研究科 | ○佐藤園<br>篠原陽子 |
| P05 | 中学校家庭科被服実習における生徒によるミシンの管理ー「ミシンのカルテ」の活用の検討ー | 奥尻町立奥尻中学校<br>北海道教育大学 | 田澤紫野<br>○小松恵美子 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| P06 | 中学校家庭科担当教員に対する研修の実態－免許外教員を中心に－ | 弘前大学教育学部<br>山梨大学大学院総合研究部<br>愛知教育大学教育学部 | ○日景弥生<br>志村結美<br>青木香保里 |
| P07 | 多文化共生の視点を導入した中学校技術・家庭科家庭分野における食文化の授業－授業後の自由記述回答のテキスト分析－ | 金城学院大学生活環境学部<br>常葉大学教育学部<br>千葉大学教育学部 | ○上野顕子<br>星野洋美<br>伊藤葉子 |
| P08 | 高等学校「家庭基礎」における女性に関する人権課題をみつめる題材開発 | 広島県立教育センター<br>広島大学大学院教育学研究科 | ○澤井一恵<br>鈴木明子 |
| P09 | 中国南京市の小学生の食生活の実態 | 東京学芸大学大学院教育学研究科（院生）<br>東京学芸大学教育学部 | ○李暁純<br>池﨑喜美恵 |
| P10 | 調理実習におけるウェアラブルカメラの活用－五感で感じる調理を目指して－ | お茶の水女子大学附属中学校<br>白鷗大学教育学部（非） | ○有友愛子<br>和田早苗 |
| P11 | 不要になった布製品の活用に関する実態調査－中学校家庭科「衣服等の再利用の方法」の教材開発を目指して－ | 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)院生<br>兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)院生<br>兵庫教育大学大学院学校教育研究科 | ○小林裕子<br>村田晋太朗<br>永田智子 |
| P12 | 小学校家庭科衣服領域の学習内容における中学生・高校生の定 | 岐阜女子大学　家政学部 | ○三輪聖子 |

着状況

P13　スウェーデンのスロイド教育の特徴－学習目標と評価の設定を中心に－　上海日本人学校（元）　○長拓実
埼玉大学教育学部　河村美穂

P14　子どもの製作意欲を引き出す被服実習室デザイン－実地調査および教師インタヴューをもとに－　信州大学大学院教育学研究科　○福田典子

P15　消費者市民社会の実現をめざす高等学校のカリキュラム開発　大阪教育大学教育学部　○大本久美子

P16　家庭科における環境教育の体験型授業プログラムの提案　東京家政大学家政学部　○赤石記子
東京ガス株式会社　三神彩子
東京家政大学大学院人間生活学総合研究科　長尾慶子

P17　家庭科教育における生活文化の研究－ARAHE における風呂敷ワークショップでの調査を踏まえて－　愛国学園短期大学　○亀井佑子
東京学芸大学附属高等学校　阿部睦子
山梨大学　志村結美
女子栄養大学　仙波圭子
千葉県立流山おおたかの森高等学校　仲田郁子
東京大学教育学部附属中等教育学校　楢府暢子

P18　小・中・高等学校家庭科における「食文化」連携題材の構想に向けて－小学校 5，6 年生の食文　広島大学大学院教育学研究科　○梶山曜子
広島大学附属中・高等　一ノ瀬孝恵

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 化概念に対する認識－ | 学校 | |
| | | 広島大学附属中・高等学校 | 日浦美智代 |
| | | 広島大学大学院教育学研究科 | 鈴木明子 |
| | | 広島大学大学院教育学研究科 | 村上かおり |
| | | 広島大学大学院教育学研究科 | 今川真治 |
| | | 広島大学大学院教育学研究科 | 高田宏 |
| | | 広島大学大学院教育学研究科（院生） | 森千晴 |
| P19 | 和食を継承する力を育む授業開発 | 徳島県立城ノ内中学校 | ○石丸千代 |
| | | 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 | 速水多佳子 |
| P20 | 小学生の放課後のものづくりの実態と生活技術力－放課後児童育成施設の指導員を対象とした調査から－ | 女子栄養大学栄養学部 | ○井元りえ |
| | | 愛国学園短期大学 | 亀井佑子 |
| | | 江戸川区立松江第五中学校 | 浅井直美 |
| | | 帝京科学大学 教育人間科学部（非） | 坪内恭子 |
| | | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生） | 菊地英明 |
| | | 聖心女子大学 文学部教育学科 | 西原直枝 |
| P21 | 日韓の小学校家庭科の教育課程及び教科書における家族・家庭生活領域の比較 | 信州大学教育学部 | ○鄭暁静 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| P22 | 首都圏における高校生の「行事食を演出する授業実践」の意義と課題－私立 T 高校の「子どもの日を祝う調理実習」を事例の中心として－ | 函館短期大学食物栄養学科 | ○手塚貴子 |
| P23 | 家庭科レッスン・スタディをテーマとした国際会議の成果と課題－協議と共有による国際交流の可能性を視点として－ | 名古屋文化短期大学<br>大阪体育大学教育学部<br>福岡教育大学教育学部<br>島根大学教育学部<br>女子栄養大学栄養学部<br>愛国学園短期大学<br>大阪教育大学教育学部<br>麹町学園女子中・高等学校 | ○羽根裕子<br>荒井紀子<br>貴志倫子<br>一色玲子<br>井元りえ<br>亀井佑子<br>鈴木真由子<br>神澤志乃 |
| P24 | 大学生におけるお弁当作りに関する実践研究 | 北海道教育大学旭川校<br>紋別市立紋別中学校 | ○川邊淳子<br>伊藤大貴 |
| P25 | 高校家庭科における「家計管理と生活設計」によるセルフエンパワメントーフィンテック時代の金融教育－ | 相模女子大学　栄養科学部<br>東京家政学院大学　現代家政学部 | ○宮川有希<br>上村協子 |
| P26 | 高等学校家庭科の衣生活領域における実験授業の現状と課題－教科書調査と教員アンケートからー | 文化学園大学服装学部<br>文化学園大学服装学部 | ○五十嵐清子<br>佐藤真理子 |
| P27 | 高校生の災害リスク認識からみるトピック学習の効果 | 東京家政大学短期大学部 | ○青木幸子 |

P28　黒龍江省農村部小学生及び保護者の衣生活の実態に関する研究　東京学芸大学大学院　○孫淼
教育学研究科（院生）
東京学芸大学大学院　池﨑喜美恵
教育学部

P29　「着物」に親しむ授業の検討－小紋の着装体験を取り入れて－　東京都大田区立大森第四中学校　佐々木里紗
女子栄養大学栄養学部　○仙波圭子

# 【基調講演とトークセッション】

7月7日(土)14:20～16:50　茨城大学教育学部D棟201教室

## テーマ：“未来をつくる力”と家庭科

**趣旨**

日本家庭科教育学会が実施した調査によれば、高等学校家庭科を履修したほぼ全員がその有用性を認識し、家庭科の学習は現在の意識や実践と関連があることが明らかになった。また、家庭科を履修した男性は、現在のパートナーシップ実践度が高くなり、男女必修家庭科は特に男性の実践に影響を与えていることが推察された。一方、生活は自身の営みのなかから様々なことや考えなどを習得し、自分自身がつくっていくものであり、生活の中で考えることが社会へとつながっていく。また、その目指す方向も一人ひとり異なり、そのことが、生活の営み全般に関わる家庭科としての“面白さ”ではないかと考える。

本基調講演及びトークセッションでは、【“未来をつくる力”と家庭科】というテーマで、家庭科教育の未来について活発な議論を展開する場としたい。

**基調講演**　　**「家庭科が大事と思ったわけ」**

内田　樹　氏　（神戸女学院大学名誉教授・凱風館館長）

**講師プロフィール**：専門はフランス現代思想。現在は凱風館館長として合気道の指導、能楽をはじめとする伝統芸能や学術セミナーなどを主催。1999年から続くブログ「内田樹の研究室」では学校教育や生活を含む幅広いテーマについて論じている。『私家版・ユダヤ文化論』(文春新書)で第六回小林秀雄賞受賞、『日本辺境論』(新潮新書)で第三回新書大賞を受賞。

**主な著書**：『街場の教育論』(ミシマ社)、『街場の共同体論』(潮出版社)、『日本の身体』(新潮社)、『困難な結婚』(アルテスパブリッシング)、『おせっかい教育論』(共著、140B)、『転換期を生きるきみたちへ　中高生に伝えておきたいたいせつなこと　』(共著、晶文社)など多数。

**トークセッション**　　**「“未来をつくる力”と家庭科はどうかかわるか」**

パ　ネ　リ　ス　ト　　高木　幸子　氏　（新潟大学）
　　南野　忠晴　氏　（元大阪府立高校家庭科教員）
　　内田　樹　氏　（神戸女学院大学名誉教授・凱風館館長）
コーディネーター　　荒井　紀子　氏　（大阪体育大学・本学会会長）

# 【ラウンドテーブル】(公開)

7 月 8 日(日)13:10～15:20

茨城大学教育学部 B 棟 205(RT1), 207(RT2), 311(RT3)

## テーマ：家庭科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

**趣旨**

新学習指導要領が 2017 年 3 月に告示され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められました。家庭科はもともと様々な活動を導入し「主体的な学び」を特徴としていますが、「対話的な学び」「深い学び」については課題があると考えられます。そこで、関東地区会では、課題研究テーマ【家庭科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善】として、2017 年 9 月に課題研究メンバーを募り、3つの研究グループを立ち上げました。

そこで、大会では、3つのグループにおけるこれまでの研究報告をもとにラウンドテーブルを行うことにしました。これからの家庭科教育における授業実践について、参加者の皆さんと一緒に考え、意見交換を行う実践交流の場を設けます。

**RT１（会場：B 棟 3 階 311 教室）**

**子どもたちの「主体的で深い学び」を支える家庭科教師のリフレクション**

**－授業経験の振り返りから家庭科の授業を考える（Workshop 形式で）－**

報　告　者　：　松井　洋子　氏(三輪田学園(非))
　　若月　温美　氏(東葉高等学校)
　　椎谷　千秋　氏(文京大学付属中学校高等学校)
ファシリテーター　：　河村　美穂　氏(埼玉大学)
司会進行　：　藤田　智子　氏(東京学芸大学)

**RT２：(会場：B 棟 2 階 207 教室)**

**家庭科教育における生活文化の研究**

**－実習を通して深く学ぶ「生活文化の伝承と創造」－**

報　告　者　：　阿部　睦子　氏(東京学芸大学附属高等学校)
　　仲田　郁子　氏(千葉県立流山おおたかの森高等学校)
　　楢府　暢子　氏(東京大学教育学部附属中等教育学校)
司会進行　：　西原　直枝　氏(聖心女子大学)

**RT３：(会場：B 棟 2 階 205 教室)**

**「ロールプレイングを導入した知識構成型ジグソー法」の家庭科授業の開発**

**－「リスク管理の問題解決」の模擬授業体験を通して「対話的で深い学び」を考える－**

報　告　者　：　野中　美津枝　氏(茨城大学)
　　齋藤　和可子　氏(中央大学附属高等学校)
司会進行　：　伊深　祥子　氏(浦和大学)

# 【懇親会のご案内】

日時:7 月 7 日(土) 18:00～20:00
会場:ホテル テラス ザ ガーデン水戸
住所:〒310-0015　茨城県水戸市宮町 1-7
TEL :　029-300-2500

会費:6,000 円

茨城の料理と飲み物をお楽しみ下さい！
※大学よりホテルのお迎えバス有り。トークセッション終了後にご案内します。

**懇親会会場のご案内**

■電車で　JR 常磐線水戸駅南口下車、徒歩 1 分（直結）

■お車で

常磐自動車道水戸 I.C.より 25 分／北関東自動車道水戸南 I.C.より車で 15 分。

北関東自動車道水戸 I.C.より 15 分

当ホテル内に立体駐車場を完備しております。

# 【お知らせ】

●大会参加費　正会員　　5,000 円(当日は 6,000 円)
学生会員　　3,000 円(当日は 3,500 円)
非会員　　6,000 円
学生非会員　3,500 円
非会員の 1 日参加費　2,500 円(要旨集別売り　1,000 円)

＊7 月 8 日(日)13:10～15:20「ラウンドテーブル」のみの参加は無料

参加申込期間は、2018 年大会プログラム到着から 6 月 8 日(金)までです。

●昼食について

弁当(1,000 円お茶つき)を希望される方は、事前にお申込み下さい。昼食時間に受付でお渡しします。7 月 7 日(土)のみ、生協食堂が開いていますが、大学周辺には飲食店がほとんどないので、弁当の利用を勧めます。

●保育室(保育預かり)について

会場内に託児室はありません。大会開催期間中、託児を希望される方は、会場から車で 30 分程度の場所にございます託児施設をご利用ください。費用につきましては、5,000 円を上限に補助をさせていただきます。

託児施設の利用を希望される場合は、6 月 26 日（火）までに、yukiko.sato.frm@vc.ibaraki.ac.jp 宛てにメールにてお申し込みください。メールの件名を「託児施設利用申し込み」とし、内容欄には下記の事項について記載してください。申し込みをされた方には、別途、託児施設の利用に関するご案内をお送りいたします。キャンセルは 7 月 4 日（水）の 17 時までです。件名を「託児施設利用キャンセル」とし、申込者のお名前を明記のうえ、上記アドレス宛てにメールにてご連絡ください。

≪申し込みメールに記載する事項≫
（1）利用者（保護者）氏名・連絡先
（2）お子様の氏名、性別、年齢
（3）託児施設利用予定日時
（4）特別な配慮が必要な場合、その内容

●宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて，各々で確保していただきますようお願い致します。水戸駅周辺から大工町にかけて「茨大行き」のバス通り沿いに多数ホテルがあり、便利です。県庁（笠原）周辺にもホテルがありますが、公共交通機関が少なく、不便です。

# 【研究発表をされる方への連絡事項】

## 【口頭研究発表】

1. 口頭研究発表のための資料は，パワーポイントおよび印刷物とします。
2. パワーポイントをご使用になられる方へ
   ①各発表会場に用意するパソコンソフトは， Windows 版 PowerPoint2010 です。
   ②ファイル名は次のようにして下さい。
   半角文字で発表番号， 全角で発表者名の順（例：A1-1 佐藤）
   ③ファイルは，ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき，以下のように，各自でパソコンにコピーしてください。
   1 日目発表：7 月 7 日（土）：9：00～9：20（各会場にて）
   2 日目発表：7 月 8 日（日）：9：00～9：20（各会場にて）
   ④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。
   ⑤パソコンにコピーしたファイルは，大会終了日に消去します。
3. 配付資料は， 発表番号と氏名を明記し，必ず 100 部用意して，発表直前に会場係にお渡し下さい。会場係が参加者に配布致します。余った資料は，会場内の資料置き場に置いておきます。
4. パワーポイントを使用される場合でも，機器に不具合が生じた時のために，印刷物を 100 部ご用意ください。
5. 口頭発表の時間は 15 分，質疑応答の時間は 5 分です。この時間には，資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから， 是非ご協力をお願いいたします。
6. 口頭発表開始 13 後に 1 鈴，15 分後に2鈴，20 分後に3鈴をもって終了の合図とします。
7. 発表中止の場合は，できるだけ早めに，大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は，会場では電話受付できませんので，大会に参加する方に連絡をとるなどして，大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中止があった場合でも，その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

## 【ポスター研究発表】

1. ポスターは，パネルボード縦 170cm、横 110cm 以内のサイズでご準備下さい。
2. 指定されたポスター発表番号場所に，発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など，自由にレイアウトしてください。
3. ポスターの掲示は、7日と8日とで貼り替えます。したがって、掲示期間は、1日だけです。当日の下記時間に掲示してください。

   奇数番号掲示：7 月 7 日(土)　9:00～9：30

   偶数番号掲示：7 月 8 日(日)　9:00～9：30
4. ポスターは，備え付けの画鋲で貼付してください。
5. 発表者は、ポスタープレゼンテーション時間帯には、ポスター傍に待機してください。

   奇数番号プレゼンテーション：7 月 7 日(土)　12：30～13：00

   偶数番号プレゼンテーション：7 月 8 日(日)　12：30～13：00
6. ポスターの撤収は、下記の時間までに各自で行ってください。

   奇数番号撤収：7 月 7 日(土)　17：00

   偶数番号撤収：7 月 8 日(日)　15：40

   所定の時間にポスターを撤去することができない発表者はご自身で大会に参加する方などに依頼し、ポスターを撤去するようにお願いいたします。

   撤去時間を過ぎましても残っているポスターにつきましては、事務局にて撤去し、処分いたしますので予めご了承ください。

# 【茨城大学までのアクセス(水戸駅北口バス案内)】

**JR 常磐線　特急利用**:品川駅→水戸駅(所要時間　約 1 時間 25 分)
東京駅→水戸駅(所要時間　約 1 時間 15 分)
上野駅→水戸駅(所要時間　約 1 時間 10 分)

**水戸駅からのバス案内(水戸駅北口へ→5 番または 7 番のりば)**

**水戸駅北口　5 番のりばから**

| バス番号 | 行き先 | 降車場所 | 運賃 | 乗車時間 |
|---|---|---|---|---|
| 11 | 茨大前営業所 | *茨大前営業所(終点)* | 330 円 | 約 25 分 |
| 5 | 茨大前営業所 | *茨大前営業所(終点)* | 330 円 | 約 20 分 |

**水戸駅北口　7 番のりばから**

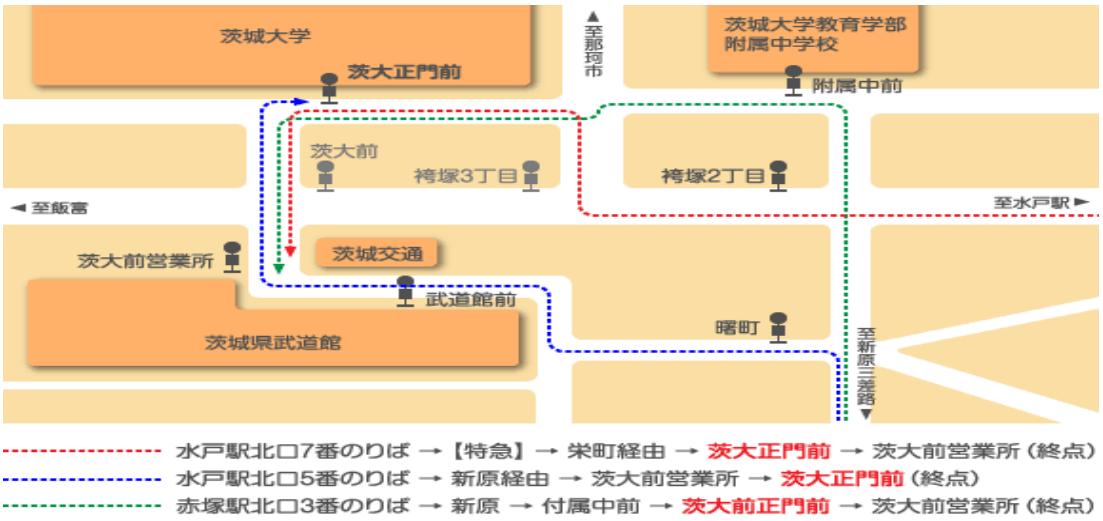
| バス番号 | 行き先 | 降車場所 | 運賃 | 乗車時間 |
|---|---|---|---|---|
| 12 | 茨大前営業所 | *茨大前営業所(終点)* | 330 円 | 約 25 分 |
| 2 | 渡里ゴルフセンター | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 40 | 石塚車庫 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 47 | 水戸ニュータウン | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 45 | 野口車庫 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 45 | 長倉・御前山車庫 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 45 | ツインリンクもてぎ | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 41 | 石塚 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 24 | 赤塚駅北口 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |
| 22 | 双葉台 2 丁目 | *茨大前* | 330 円 | 約 25 分 |

※運賃は大人片道の金額です

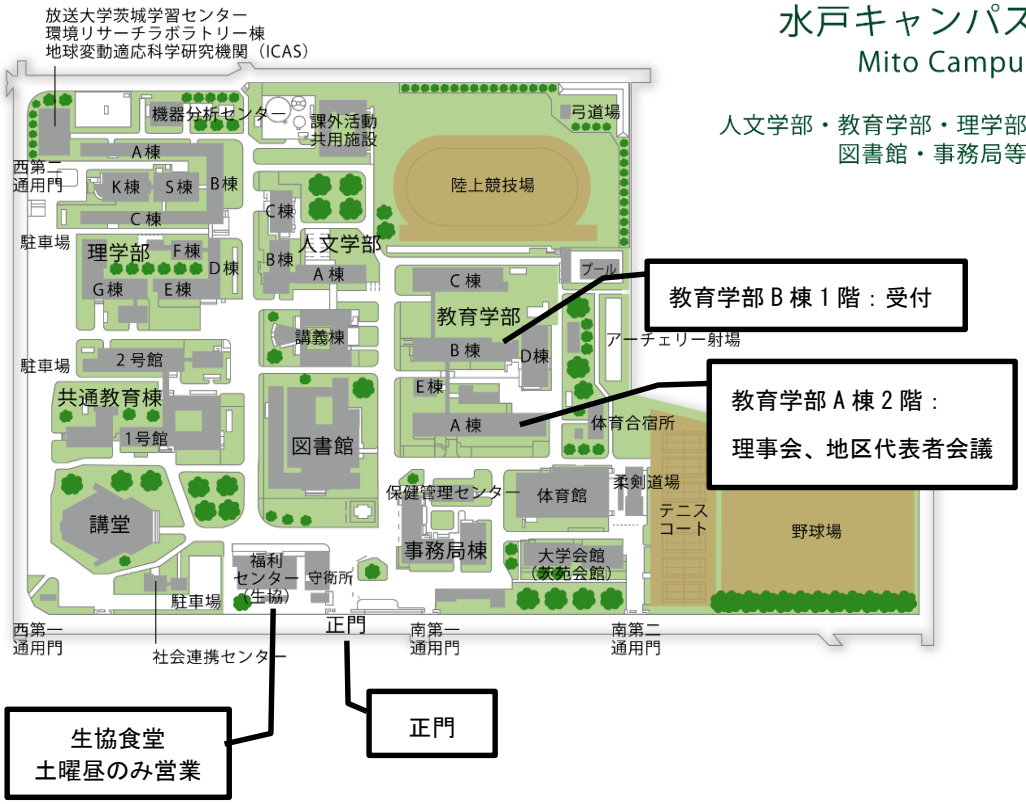
**茨城大学周辺**

**（茨大前営業所から正門まで徒歩約 5 分）**

※「茨大正門前」に止まるバスは、平日のみで、土曜、日曜はありません。「茨大前営業所」「茨大前」で降車して下さい。なお、お帰りは、「茨大前」からが便利です。

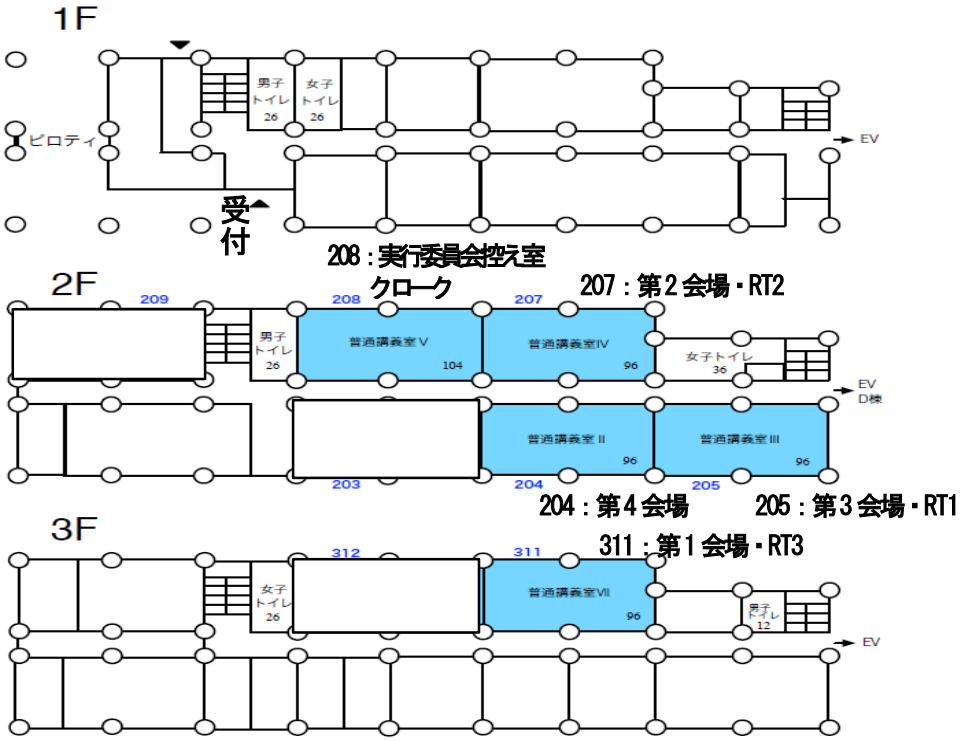


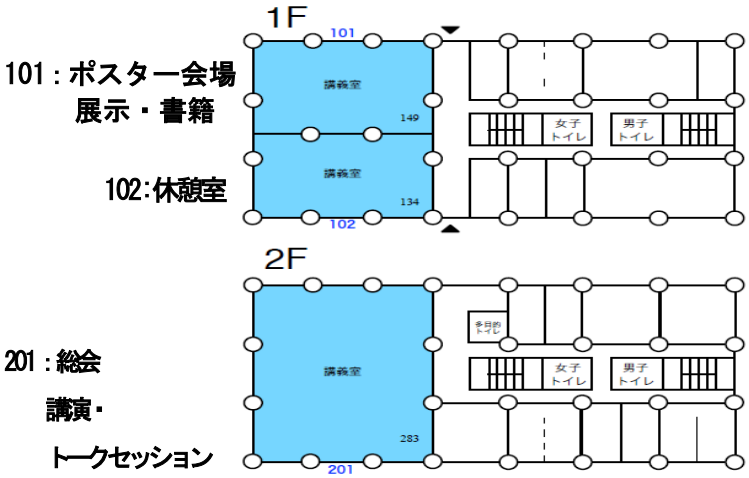

## 【茨城大学水戸キャンパス建物配置図】



# 【会場配置図】

## 教育学部 B 棟配置図




## 教育学部 D 棟配置図